

## 42. 軟部組織感染症に対する高気圧酸素療法

川島眞人 田村裕昭 高尾勝浩  
(医療法人玄真堂川島整形外科病院)

【目的】 ガス壊疽を含む軟部組織感染症に対して高気圧酸素療法を行い、その有効性を検討した。

【方法】 ガス壊疽3例、壊疽性筋膜炎5例の計8例に対して、高気圧酸素療法を施行した。ガス壊疽の原因は、人工股関節置換術後1例、糖尿病性褥創1例、壊疽性筋膜炎の原因はいずれも軽微な外傷によるものであった。高気圧酸素療法(HBO)は2.0~2.8ATAにて純酸素吸入を60分間行った。HBOの回数は最低4回から63回におよんだものもある。1例を除く全例にデブリドメン、植皮術、切断術等を行った。

【結果】 全例救命し、良好な結果を得たが1例のみ切断にいたった。できるだけ早期にHBOを行うべきである。

## 43. 肝切除術後の肝再生に対するOHPの効果について

森岡 徹\*<sup>1)</sup> 藤原恒弘\*<sup>1)</sup> 横田晃和\*<sup>2)</sup>  
難波康男\*<sup>1)</sup> 藤原久子\*<sup>3)</sup> 大森 繁\*<sup>4)</sup>  
吉田和正\*<sup>4)</sup> 苅田 誠\*<sup>4)</sup> 佐名木美幸\*<sup>4)</sup>

* <sup>1)</sup>	医療法人里仁会興生総合病院外科
* <sup>2)</sup>	同 麻酔科
* <sup>3)</sup>	同 透析室
* <sup>4)</sup>	同 高気圧治療室

肝切除術後に対するOHPの効果を検討するために、白色雄性家兎にて、75%肝切除を行ない、OHP(+), OHP(-)の群を作成し、肝再生率、各種化学検査、及び病理組織学的検索について、実験的検討を行なった。

75%肝切除術は、Nenbutal麻酔下、上腹部切開にて開腹し、肝左葉(前葉+後葉)及び右前葉切除を行なった。OHP(+ )群では、肝切除術後より連日、9日目まで空気加圧、2ATA、純酸素吸入を行なった。10日目にOHP(+ )群、OHP(-)群とも屠殺し、残存肝を摘出した。肝再生率については、fish backの式にて算定した。OHP(+ )群では、OHP(-)群に比して肝再生率に有意な差がみられた。生化学検査については、術前、術後のCBC、Platelet、GOT、GPT、ALP、LDH、T-Bil、PTの推移を比較した。結果として、CBC、Platelet、T-Bil、PTについては差がみられなかったが、GOT、GPTについては、OHP(+ )群の方が、上昇の程度が低く、変動の少ない傾向にあった。又、ALP、LDHの上昇のピークは、OHP(+ )群で1日早く、その上昇の程度も低く、回復が早い傾向がみられた。病理組織学的検索では、OHPを行なった群にて肝再生が促進している傾向がみられた。

以上、肝切除術後に対するOHP療法は、肝の再生を促進し、肝機能の改善に有用であると考えられた。